

一般質問

町政を問う

今回5名が質問し、
その要約を掲載しました。

桜井和子議員 11

1. 小中学校のエアコン設置について
2. 「重いランドセル解消」の対策について
3. ランドセルの無償配布について

猿田正純議員 12

1. 公共下水道の進捗状況と今後の計画について
2. 町道2256号線拡張工事の要望書について
3. 常北小について

藤咲芙美子議員 13

1. 東海第二原発再稼働について
2. 病院建設について

加藤木直議員 14

1. 地域おこし協力隊について
2. 荒廃遊休農地について

河原井大介議員 15

1. 学校給食センターについて
2. 公共交通である路線バスについて
3. 倒木処理について
4. イノシシ対策について

🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の
寄稿によるものです。



さくらい かずこ 議員
桜井 和子

小中学校のエアコン設置 について

《町長》本年度内に工事発注をするよう努力する。

桜井 補正予算に設計費が計上されたが、来年の夏に間に合うか伺う。

町長 暑くなる前に、小中学校全てにエアコンの設置を完了させるため、教育委員会と協議し予算編成の指示をした。設置の今後の予定は、11月にエアコンの実設計を発注したい。工事費の予算は、12月の議会で補正予算を計上し、本年度内に工事発注をするよう努力する。

桜井 費用の面、工事期間の面から、どのような様式で設置するのかわかるか。

町長 各教室個別にルームエアコンを設置する方式が最も効率が良いと考えている。設計者の意見も聞き、設置工事を最優先の設計にしていく。



「重いランドセル解消」の対策について

《教育長》
毎月の町校長会で協議し、適切に対応していく。

桜井 ゆとり教育からの転換により、教科書は分厚くなり副教材なども多様化。子どものランドセルが重すぎ、成長途上の児童の体に過剰な負担がかかっている。と懸念の声が上がっている。文科省は、全国の教育委員会に、対策を検討する様、通知したと聞いている。町の現状を伺う。

教育長 家庭科、音楽、道徳の教科書、絵の具、楽器等は常時学校に置いておく。翌日の授業に支障が無い科目は学校に置いておく所もあるが、主要科目の教科書は原則持ち帰っている。習字道具など習い事している児童は、個人の判断で持ち帰るなど、本町5校全ての学校で実施している。

今後の対策については、低学年の登下校に負担にならないよう、毎月の町校長会で協議し適切に対応していく。



ランドセルの無償配布について

《町長》
一つの検討課題としていきたい。

桜井 入学準備に欠かせないランドセル。オリジナルの軽いランドセルをプレゼントすることはできないか伺う。

町長 ランドセルの無償配布について、今後の課題として、来年度予算の編成に向けて、一つの検討課題としていきたい。



ランドセルの中にはたくさんの教科書が

公共下水道の進捗状況と今後の計画について



さるた まさすみ 議員
猿田 正純

《町長》下水道審議会の答申をいただいたので、事業を推進したい。

猿田 公共下水道の進捗状況と今後の整備計画は。

町長 那珂久慈流域公共下水道は、昨年度末までに356ヘクタールが整備され、処理区域内の7,565人の方が下水道利用可能となった。

増井一区の整備は、4年間で整備目標の約9割が進捗した。

昨年度、下水道審議会に整備のあり方を諮問し、増井地区の未整備区域及び磯野地区を新たに下水道計画区域に含めるべきと本年2月に答申をいただいたので事業を推進したい。

猿田 これからの予定は。

町長 現在は、増井二区・磯野区までの整備を目指す。増井二区までの整備目標を平成35年と定め、

次に磯野区に入る予定。来年度から増井一区の未整備区域、それから増井二区に向けて2,170メートルの下水道整備を行う。

町道2256号線拡張工事の要望書について

《町長》ガードレールを設置しているところと考えている。

猿田 町道2256号線県道石塚石岡線の関根地区から小松寺までの道路について区長から要望があったが、その道路の危険性について町はどう思われるか。

町長 安全性を高めるためにガードレールを数十メートル設置しているところと考えている。

猿田 ふれあいの里、ホルルの湯への近道として交通量が増えている。公共施設利用道路で事故が起こる前に対策をお願いしたい。



常北小について
(学童保育の環境が悪いと見受けられるが)

《町長》
検討委員会を立ち上げ環境改善を図る。

猿田 常北小学校は教職員用のトイレがありません。町の考えは。

町長 常北小学校舎は昭和59年に新築され、建設当初から職員用トイレはなかった。私も学校で確認した。トイレの適切な設置場所や可能な施工方法も含め、設置に向けて前向きに検討する。

猿田 学童保育の環境が悪いと見受けられるが、検討委員会の立ち上げの進め方は。

町長 常北小は2階の図書室で運営。

石塚小も老朽化。放課後児童クラブ施設整備検討委員会を立ち上げる。議会・住民・有識者等で構成、環境改善を図る。並行して、保護者と運営主体・各小学校とも調整をし、放課後の児童の活発な活動、保護者の安心につながる運営に努める。



地域おこし協力隊について



加藤木 直 議員

《町長》 今後の採用は、就農が見込めるようになった後、検討したい。

加藤木 地域おこし協力隊受け入れ時の要件審査はどのようなか。また、研修先の調整や第三者継承部門の町への関わり方はどのようにするのか。今後の受け入れ計画はあるのか。

が、この地域の伝統ある和牛の灯を消さないためにも、手厚い支援の出来る政策が必要だ。第二第三の和牛の新規就農に期待する。また、今後の隊員受け入れについても前向きに検討いただきたい。

町長 都市部より人材を誘致し、書類審査面接により採用を決定、研修先は担当及び協力隊が調整を行なっている。

町長 城里町にとって、和牛生産は重要な農業ブランドだ。和牛新規就農者が定着する様努力したい。また、協力隊の継続的受け入れは重要だと思ふ。受け入れ側の体制強化についても検討する。

今後の受け入れについては、確実に就農が見込めるようになった後、検討したい。

加藤木 第三者継承部門に和牛志望者が一名いる

加藤木 第三者継承部門に和牛志望者が一名いる



梨園の継承を目指す染矢協力隊員

荒廃遊休農地について

《町長》

農業委員・推進員の意見を聞き、検討したい。

加藤木 荒廃遊休農地が増え、有効な利用実績はあるのか。また、改正農業委員会法が施行され、耕作放棄地の解消にどのような効果が出ているのか。

町長 遊休農地解消のための県補助が最終年になるが、農業委員会と連絡を密にし、対策を進めていく。また、改正農業委員会法による質問だが、那珂西地区の一部をモデル地区として畑の集積を行なっている。新たに設置された推進員制度の効果であると思ふ。さらに農地の集積・集約が加速することを期待したい。



加藤木 遊休農地解消の県補助が最終年の事だが、町単独での補助制度を検討いただきたい。また、農業委員の選任、推進委員の委嘱はどのようにしているのか。

町長 遊休農地解消のあり方について、農業委員、推進員の意見を聞き、検討したい。

農業委員会事務局長 農業委員及び推進員の選任・委嘱については、委員募集要項を策定し、広く町内より募集した。

農業委員及び推進員 農業委員及び推進員の選任・委嘱については、委員募集要項を策定し、広く町内より募集した。

農業委員及び推進員 農業委員及び推進員の選任・委嘱については、委員募集要項を策定し、広く町内より募集した。



かわらひ だいすけ
河原井 大介 議員

学校給食センターについて (調理職員の適正な人員配置を)

《町長》 欠員解消に向け早急に取り組む。

河原井 城里町給食完全無料化で注目されている中で、給食センターの調理現場の実情として、夏場40℃湿度90%。冬場では3℃位の中で懸命に給食の調理をされている。具体的に調理職員の適正な人員の配置と確保、労働環境の改善、老朽化(20年経過)している調理器具の入れ替え、食物アレルギーに対しての対応は。

町長 現在、常北給食センター一施設で調理、配送している。エアコンの無い調理現場で調理員が過酷な労働環境で仕事をしていたことは、事実である。今回、調理室のエアコン設置の為、補正予算を計上した。

ご指摘のように調理員2名が不足している。欠員解消に向け早急に取り組むとともに賃金見直しを

検討する。また、老朽化した調理器具については、計画的に更新していく。

アレルギーマッチングについては、対応については、新年度開始時に、保護者と個別面談し、学校や医

河原井 バスの利用増について、現在、石塚小学校の近隣の道路の拡幅工事に合わせて、利用者の多い石塚小前の駐輪場整備をしてはどうか。また、高齢者の免許自主返納にあたり何らかの支援策が必要では。

町長 駐輪車両が今後も増えるよう

公共交通である路線バスについて (石塚小前の駐輪場の整備をしてみても)

《町長》
駐輪車両が増えるようであれば整備を検討する。

あれば駐輪場の整備を検討する。高齢者の免許自主返納支援策は、バス乗車券やデマンドタクシー利用券を一回限り支給している。



療機関の指導を受け対応している。

倒木処理について

《町長》
過去の経験により対応している。

河原井 昨今の自然災害、台風等による倒木による被害の箇所や過去に倒木の対応した箇所については、役場庁内全体で常に把握できるように情報のデータベータ化が必要では。また、森林機能回復整備事業(茨城県の補助制度)の活用を提案したい。

町長 町としては、危険箇所のデータベータ化はしていない。台風時に役場でパトロール隊をつくり、過去の経験により対応している。

森林機能回復整備事業の活用については、道路沿いで該当する森林であれば活用する。

イノシシ対策について

《町長》
有害鳥獣駆除隊のメンバーと相談しながら補助金を充実していく。

河原井 昨今、全国的にイノシシ等の被害が増加しているが、那珂西地区や、桂小學校等、民家の庭にまで出没する中で喫緊の課題として議論が必要であると思う。具体的な有害鳥獣被害対策実施隊に対して、充実した支援策(弾薬、ガソリン代等)への補助金の交付)の検討が必要では。

町長 有害鳥獣駆除隊のメンバーと相談しながら補助金を充実していく。